



始



276
169

大日本府縣分圖 宮崎縣管內地圖



大分縣豐後國野郡

下益城郡

阿蘇郡

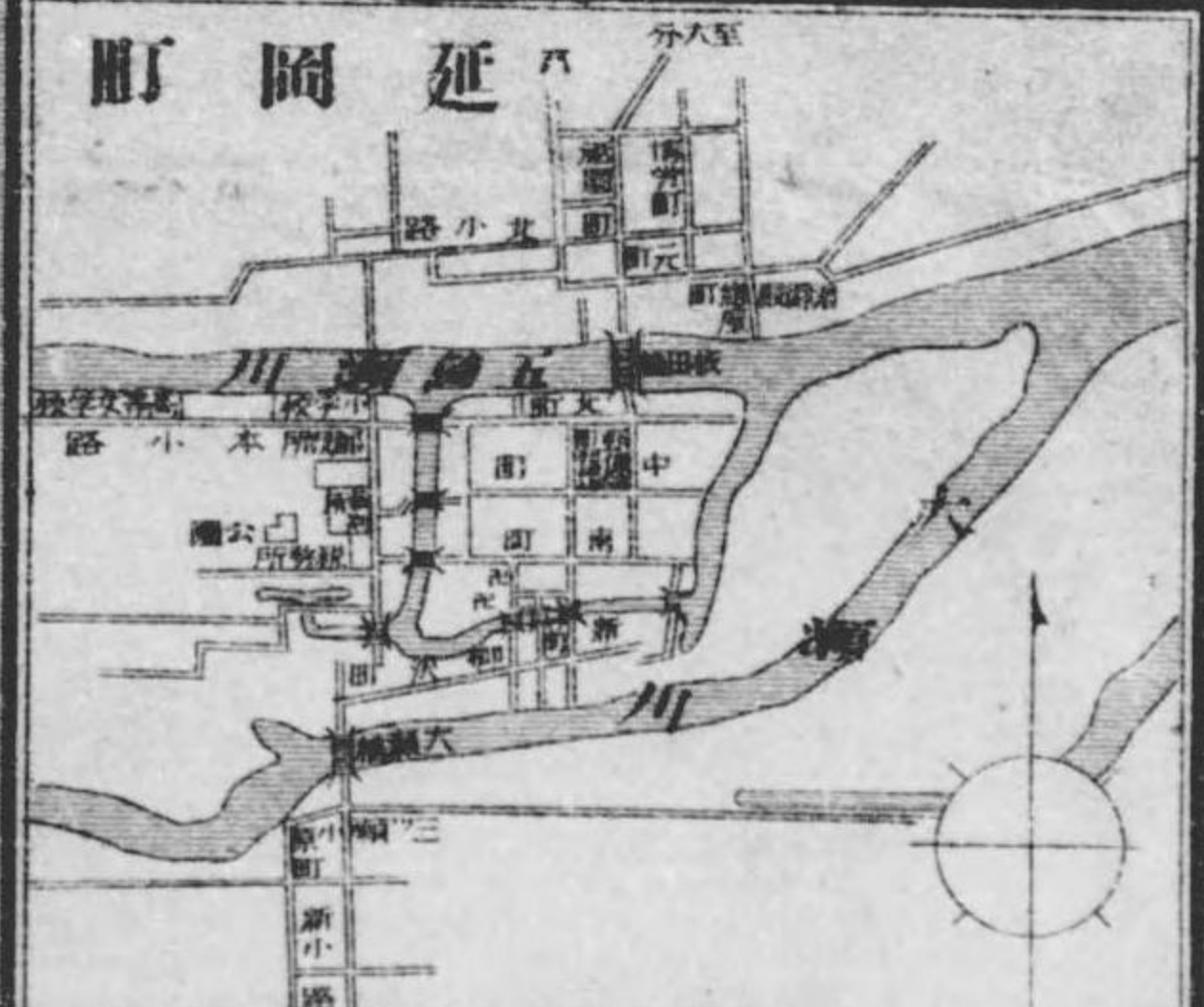
熊本縣

西白杵郡

東白杵郡

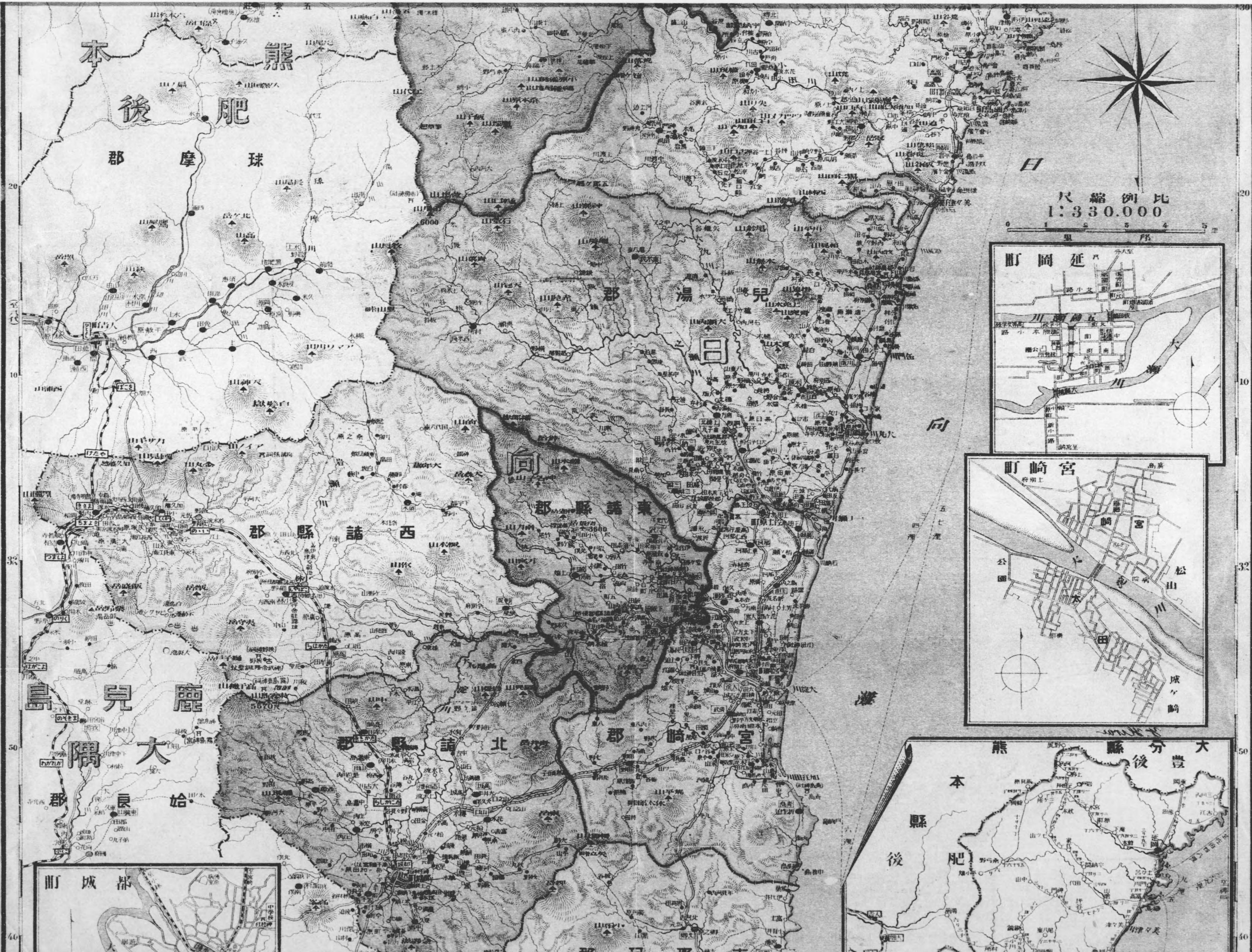
肥後縣

湯島郡

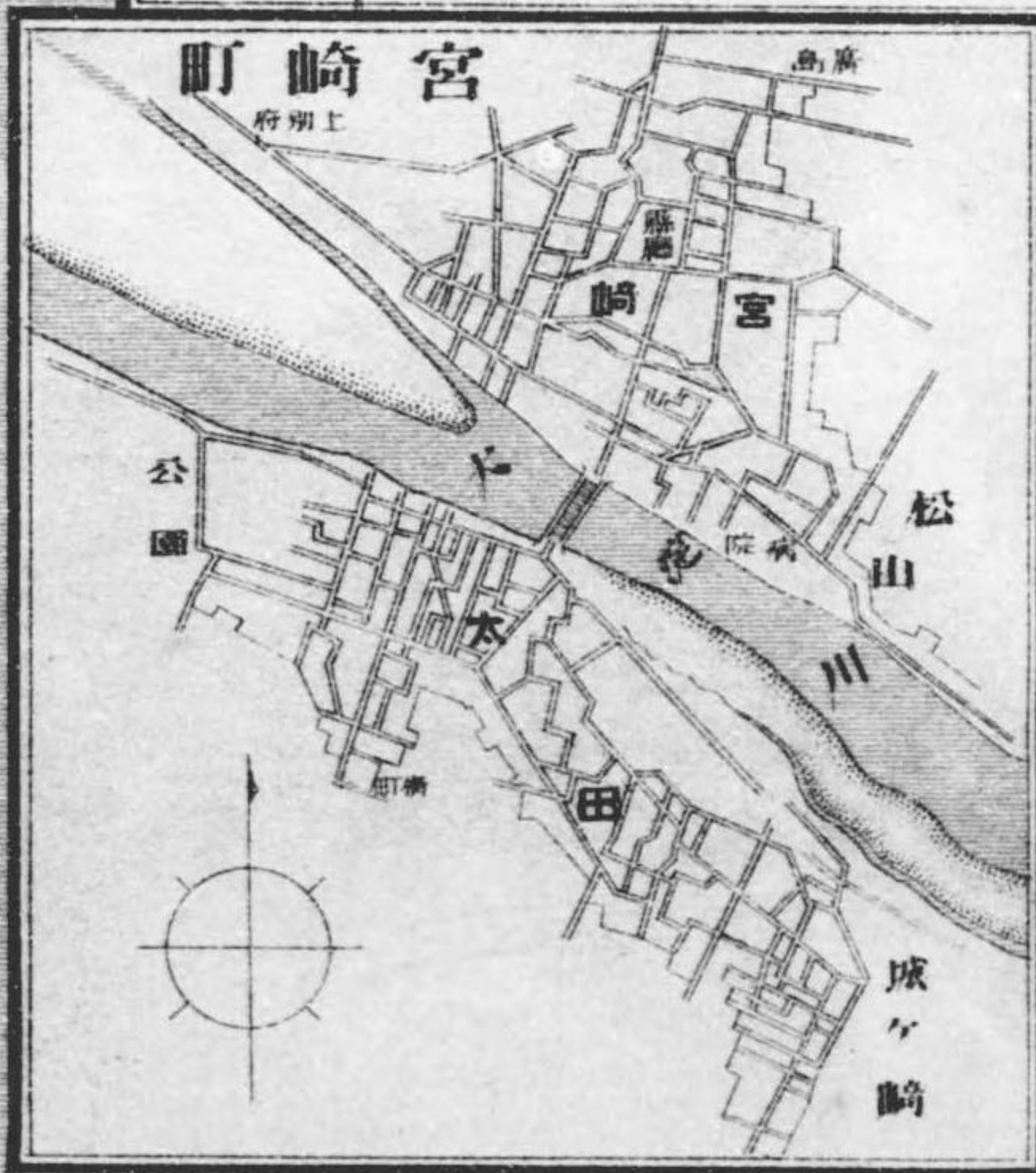
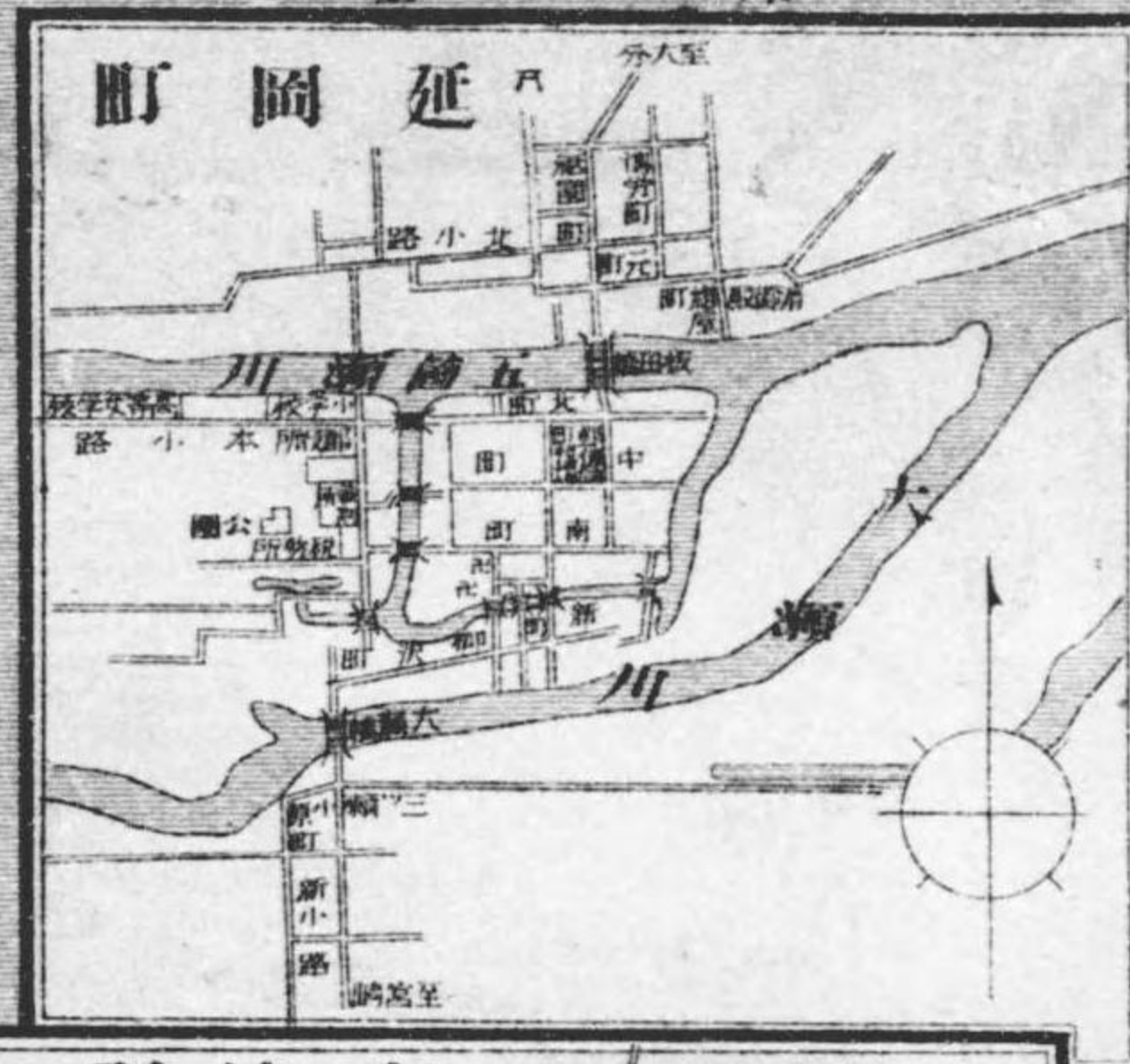


比例尺縮
1:330,000

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5



尺縮例比
1:330,000



大正三年二月五日
不許複製
大正三年二月十日
作者

宮崎縣地理大要



● 總 說

位置 北は大分縣に接し、東と南とは太平洋に枕み、南西は鹿兒島縣、西は熊本縣に界す。

面積 五百五方里

戸口 戸數九萬餘、人口五十四萬八千餘。

沿革 縣治は廢藩置縣のとき都城、美々津の二縣を置き、六年に此二縣を廢して宮崎縣を置き、九年に宮崎縣を廢されて鹿兒島縣となり、十六年に鹿兒島縣より分割して更に宮崎縣を復し、今の縣治となる。郡は明治五年に兒湯郡に肥後の米良を加へ十六年に南諸縣郡を除きて鹿兒島縣に屬せられ、廿九年に北那珂郡を宮崎郡に併せらる。

管轄 日向國宮崎、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸縣、兒湯、東臼杵、西臼杵の八郡。

縣廳 宮崎郡宮崎町に在り。

交通 鐵道北は宮崎より豊後の大分に、又一は妻に、西は宮崎より都城、小林を経て、吉松に至り鹿兒島線に聯絡し、驛路は豊後路、大隅路、同別路、肥後路、同別路、同米良通、同椎葉山通等。航路は細島大阪間、細島豊後佐伯間、細島油津間、油津鹿兒島間等。

○鹿島市 卅里十四町 ○大分市 四十九里廿町
○熊本市 五十五里餘 ○長崎市 百十里十六町
○大阪市 三廿里廿町 ○東京市 三廿七里廿町

木材、樟腦、木炭、椎茸、銅、半紙、茶、馬等。

● 日向國

北は豊後、東は太平洋の日向灘、南西は大隅、西は薩摩、肥後に接す。東西十七里、南北四十里、面積五百方里、此國は天孫降臨しましたし、地神三代在らせられ、人皇第一代神武天皇此地より起り、東征して大和に都を奠め給ひし基原の地、尙又景行天皇の土賊熊襲を征討し給ひし歴史を有す、それ等を證すべき舊跡多し、往古は土持氏なるもの此國を領し、尋で伊東氏、大友氏、島津氏これを領し、豊臣秀吉の島津氏を征討せし後より徳川幕府時代に至り、諸侯の分領地となり、明治維新廢藩置縣に至りて縣治となる。

山岳 東霧島山(活火山)古稱高千穂、一名矛の峰、直立(五千五百七十尺)、西霧島山(休火山)一名韓國岳、直立(五千三百尺)、祖母岳(六千四百尺)、尾鈴山、桑原山(三千二百四十尺)市房山(五千尺)可愛岳、法華山(三千六百尺)等あり。

河川 五箇瀬川、大丸川、一ノ瀬川、高鍋川、大淀川(一名赤江川)廣戸川、美々津川(一名耳川)等あり。

港湾 細島港、油津港、今町港、赤江港、細江港外の浦、有明灣等あり。

を得。

○青島神社 青島に在り。彦火々出見尊外二神を祀る陰曆三月十六日は祭日にて附近より参拜者群集す。



社神島青

○孤葉 櫛村の海濱に在る松原なり。老松の中には往々孤葉のものある故に名づく。此海濱は白砂青松の絶勝地にて、大海を一望する景色得も言ひがたし。

○佐土原町 縣下の名邑にして島津氏の支藩地なる舊城下なり。肥後の人吉に通ずる米良通なる街道あり。

○佐土原城址 町の西南に在り、伊東氏の築く所にして島津支藩主の居城たりしもの。

○廣瀬町 佐土原町の東二里許に在りて大分街道の都邑なり。此地は舊も普通の小邑なりしに明治三年佐土原藩主移住せしより漸次繁盛す。

○南那珂郡 (みなみなか)

○飲肥町 舊佐土原藩の領地にして郡中第一の都市なり。土地繁盛にして戸口多し。町の西北隅に城址あり。

○油津町 酒谷河口に在り。油津港ありて港内水深く大船を入るに足れる良港にて細島、外の浦と共に國內の三良津と稱せらる飲肥地方貨物の集散地なり。

○福島 舊高鍋藩の領地なり、今町港を有する港邑にして國の最南端に在り。港内水深くして大船を泊するに足る。此地及び附近は盛に馬を産す。

○外の浦 福島の東北日向灘に瀕する地に在り。既に記す如く、三良津の一なれども三面山にして交通の便を缺くを以て振はず。

○鶴戸神社 官幣大社 鶴戸村の海濱に在り。神武天皇御宇の創建、桓武天皇御宇の再建にして祭神は神武天皇の御父鸕鷀草薙不合尊なり境内廣し。

○鶴戸の窟 社殿より遠からざる地に在り。此窟内に本社神宮の本宮あり。鷓鴣草薙不合尊御降誕の地なりと傳ふ。窟の地は鶴戸の岬にて海に斗出し、奇石怪岩錯綜したる奇勝地なり窟の内は東西二十一間、南北十六間の廣さあり。



宮神戸鶴向日

○榎原神社 郷社、榎原村に在り。是れ亦古社なり

○古布瀬 高さ九丈、幅壹丈、酒谷村に在り。

○北諸縣郡 (きたもろがた)

○都城町 國の西南部なる大隅街道に當る都邑に

尋で伊東氏、大友氏、島津氏これらを領し、豊臣秀吉の島津氏を征討せし後より徳川幕府時代に至り、諸侯の分領地となり、明治維新廢藩置縣に至りて縣治となる。

○**山岳** 東霧島山(活火山) 古稱高千穂、一名矛の峰、直立(五千五百七十尺)、西霧島山(休火山)一名韓國岳、直立(五千三百尺)、祖母岳(六千四百尺)、尾鈴山、桑原山(三千二百四十尺) 市房山、(五千尺)可愛岳、法華山(三千六百尺)等あり。

○**河川** 五箇瀬川、大丸川、一ノ瀬川、高鍋川、大淀川(一名赤江川) 廣戸川、美々津川(一名耳川)等あり。

○**湊** 細島港、油津港、今町港、赤江港、細江港外の浦、有明灣等あり。

○**宮崎郡**(みやざき) 宮崎町 大淀河口の上流一里にして川に沿ひたる國內第一の都會なり。此地に赤江港あり。港内水淺けれども細江港との間、小汽船往復す。

○**宮崎神宮** 官幣大社、大宮村大字下北方の船塚に在り。天健磐龍命の創建にして、神武天皇を祀る。境内廣くして二十町四方あり

○**神武天皇宮址** 神宮の西北に在り。天皇東征前の宮址なり。

○**宮崎城址** 大宮村字下方に在り。慶長年間延岡城主高橋氏の臣權藤某の居城にして、後ち飢肥城主伊藤氏の居城たりしもの。

○**橋** 小戸の檣原、祝詞の文にある有名なる地にて宮崎町と大淀村との中間、大淀川に沿へる地に橋あり、其地ならんと言ふ。

○**小戸神社** 橋の通りの南に在り。景行天皇の御宇の創建にして祭神は伊弉諾尊なり。

○**生目神社** 縣社、一に生目八幡と云ふ。生目村に在り。創建の年月且つ祭神に就きて種々の傳説あり

○**芭蕉翁の句碑** 生目神社の境内に在り。

○**景清の墓** 宮崎神宮の西北一里餘の塚原に在り。其側に小祠ありて景清の愛玩せしと云ふ琵琶を納む。朽ちて今は形のみを存す。傳説に據れば景清此地に脱れて閑居し、水に投じて死せしと云ふ。

○**江田神社** 縣社、檣村に在り。日向に於ける式内四座の一なる神社なり。

○**青島** 折生迫の東北青島村に在り。絶勝の域にして其趣き恰も相州の繪島に似たり、潮干れば歩いて至る



宮崎市街



青島の一角

○**神武天皇の御父** 草葺不合尊なり境内廣く

○**鵜戸の窟** 社殿より遠からざる地に在り。此窟内に本社神宮の本宮あり。鷓鴣草葺不合尊御降誕の地なりと傳ふ。窟の地は鵜戸の岬にて海に斗出し、奇石怪岩錯綜したる奇勝地なり窟の内は東西二十一間、南北十六間の廣さあり。

○**榎原神社** 郷社、榎原村に在り。是れ亦古社なり

○**古布瀬** 高き九丈、幅壹丈、酒谷村に在り。

○**北諸縣郡**(きたもろかた) 都城町 國の西南部なる大隅街道に當る都邑にして繁華宮崎町と伯仲す。地は山間なれども、それ比しては交通便なり。此地は島津支藩主久しく居城せし地にて義久此城を築きしより都城の名起れり。

○**高千穂の遺址** 都城町大字宮丸の地と云ふ。されど他にもあれば、何れが眞なるや定め難し。

○**神柱神社** 縣社、都城町に在り。古社なり。

○**瀑布** 庄内村なる關尾の瀑は高さ廿二丈、幅三四尺あり。高城村の満穂坊なる川添の瀑は高さ五丈、幅一丈二尺あり、何れも有名なり。

○**西諸縣郡**(にしもろかた) 霧島山 郡の西南部大隅國界に峙つ、詳細は總説山岳の部に記す。

○**小林** 郡の中央肥後街道鐵道は鹿兒島線に聯絡する線路に當る都邑にして、山間の一驛なり、日向にては宮崎、飢肥に亞ぐ名邑とす。此地は多く良材を産す。

○**細野** 小林村に在り。此地は景行天皇熊襲征討の時一年有餘駐蹕の行在所ありし地なり。

○**狹野神社** 縣社、高原村大字狹野に在り。神武天皇御降誕の地なるを以て、天皇を齋祀せり。

○**瀑布** 須木村に二瀑あり、一は觀音瀑にて、高さ二十丈、幅二尺。一は須木瀑にて、高さ十六丈、幅壹丈。

○**東諸縣郡**(ひがしもろかた) 高岡町 大淀川に臨める名邑にして水運の便あり此地は附近の木材新炭等の集散地なり。

○**月知梅** 高岡町大字高濱に在り有名なる古木にして、花は白色重瓣なり。其一枝垂れて地に入り、根を生じて幹となり。更に蔓延して周圍六十間に及ぶ。實に奇なる梅樹なり。

○**劍柄神社** 本庄村に在り。古社にして景行天皇の朝の創建に係る。

○**法華岳** 八代村に在り。群峯の上に聳えたる高山にて海上の眺望佳なり。頂上に養老年間開基の樂師堂あり、和泉式部が祈願せし佛なり。



日向鵜戸神社



霧島山大噴火

りたる城にて、後ち伊東氏、島津氏等の居城たりし
址なり。

○豊臣秀長の陣所跡 綾川の南岸に在り。秀吉島津
氏を伐らしとき、弟秀長陣所を置きし跡なり。

●兒湯郡 (こゆ)

○高鍋町 蚊口浦の海濱に在り。秋月氏の舊藩地に
して豊後街道に當れる繁華地なり。此地砂糖、織物
を産す。

○高鍋城址 町の西なる上江村に在り。秋月氏累代
の居城址なり。

○都農神社 國幣小社、都農村大字川北に在り。祭
神は大己貴命にして延喜式内日向四座の一、本國
の一の宮なり。創建の年月詳ならず。

○都萬神社 縣社、妻村に在り。祭神は瓊々杵尊の
妃、木花開耶姫命にして是れ亦延喜式内日向四座の
一なり。創建の年月詳ならず。有名の古社なり

○三宅神社 下穂北村大字三宅に在り。祭神は瓊々
杵尊なり。創建の年月詳ならず。

○古陵 同所に瓊々杵尊、木花開耶姫命二柱の
御陵墓と傳ふるものあり。

○美々津町 美々津河口に在る小繁華の驛邑にして
明治の初年に美々津縣廳を置かれし地なり。此地美
々津港あれども水淺くして大船を泊し難し。

○立磐神社 美々津町に在り舊と神武天皇の遺跡に
して天武天皇を祀る。社域に腰掛岩といふ石あり。

○高屋行宮址 都於郡村に在り。其地を岩爪と稱す
景行天皇、熊襲を征討し給ひしとき六年間在らせら
れたる地と云ふ。

○都於郡城址 都於郡村に在り。伊東氏累代の居城
址なり。

○黒貫寺 眞言宗、都於郡村に在り。本尊は觀世音
菩薩、隆元少僧都の開基にして、寛永年中の創建。

○座論梅 新田村大字新田に在り。月知梅の如く枝
地に入りて幹となり、四方一反餘歩に蔓延す。
此花は白色にして單瓣なり。近傍に溪流ありて景色
佳なり。

○瀑布 布引の瀑、高さ四十丈、幅三尺、矢研の瀑
高さ十餘丈、幅一尺許、共に米良村字小川に在り。

●東臼杵郡 (ひがしうすき)

○延岡町 五箇瀬河口にあり。舊延岡藩の城下にし
て國內北部の名邑なり。

○東海巷 延岡町の東に在り。國內の山脈なり。

在り。藩主累世の居城址なり。

○今山公園 一名を蓬萊山と云ふ。延岡町の北に在
りて、招魂社、公會堂等あり。頗る眺望に富む。

○大師堂 今山の西に在り。四國八十八ヶ所の如く
石像を安置す。

○安賀多神社 縣社、延岡町に在り。養老元年の創
建にして祭神は天照大神外三神なり。

○三福寺 浄土宗にて智恩院の末派なり。延岡町に
在り。

○可愛岳 延岡町の北に在り。山上眺望に富みて風
光を一瞬に萃む。此山は西南の役に西郷隆盛激戦
し處にて、敗走して夜脱れ、鹿兒島に歸りて自刃せ
り。其古戰場なり。

○瓊々杵尊御陵地 可愛岳の東麓に古陵あり。尊の
御陵墓なりと傳ふ。

○慈眼寺 曾不驛に在り。慶應年中勤王の僧胤康の
在りし寺院なり。事漏れて此の寺にて捕へらる。

○愛宕山 延岡町の南、垣富村に在り。愛宕社あり
て山上眺望佳なり。

○細島町 縣下第一の細島港を有するを以て市街殷
賑なり。本港は大坂、神戸、鹿兒島、琉球等航海汽
船の發着港なり。

○行藤の瀑 南方村の行藤山中に在り。高さ十八丈
幅一丈二尺。

○那智瀑 東海村の川島に在り。高さ七丈八尺、幅
一丈八尺。

○布引瀑 北方村に在り。高さ二十四丈、幅三尺。

○藤木瀑 岩脇村の幸脇に在り。高さ十丈、幅一尺。

●西臼杵郡 (にしうすき)

○高千穂村 此村の字三田井は名邑にして、太古に
は美田居と云ひ、天孫降臨し給ひし地と云ふされど
他にも斯く稱する地あり。何れ是なるや今知り難し。

○二上神社 縣社、高千穂村の三田井に在り。天津
日子番能近々藝命を祀る。附近に高天原の舊跡、天
の眞名井、四皇子が峯等あり。

○荒建神社 村社は三田井の字山川に在り。

○高千穂神社 村社、三田井字十社山に在り。鵜目
姫命を祀る。古社にして垂仁天皇の朝の創建。

○岩戸神社 岩戸村に在り。天照大神を祀る。大神
の隠れ給ひし天の岩戸の地と云ふ。

○窓の瀬 山水絶勝の區なり。三田井の西、五箇瀬
川の上流に在り。

都農神社 國幣小社、都農村大字川北に在り。祭神は大己貴命にして延喜式内日向四座の一、本國の一の宮なり。創建の年月詳ならず。

都萬神社 縣社、妻村に在り。祭神は瓊々杵尊の妃、木花開耶姫命にして是れ亦延喜式内日向四座の一なり。創建の年月詳ならず。有名の古社なり。

三宅神社 下穂北村大字三宅に在り。祭神は瓊々杵尊なり。創建の年月詳ならず。

古陵 同所に瓊々杵尊、木花開耶姫命二柱の御陵墓と傳ふるものあり。

美々津町 美々津河口に在る小繁華の驛邑にして明治の初年に美々津縣廳を置かれし地なり。此地美々津港あれども水淺くして大船を泊し難し。

立磐神社 美々津町に在り舊と神武天皇の遺跡にして天武天皇を祀る。社域に腰掛岩といふ石あり。

高屋行宮址 都於郡村に在り。其地を岩爪と稱す景行天皇、熊襲を征討し給ひしとき六年間在らせられたる地と云ふ。

都於郡城址 都於郡村に在り。伊東氏累代の居城址なり。

黒貫寺 眞言宗、都於郡村に在り。本尊は觀世音菩薩、隆元少僧都の開基にして、寛永年中の創建。

座論梅 新田村大字新田に在り。月知梅の如く枝地に入りて幹となり、四方一反餘歩に蔓延す。此花は白色にして單瓣なり。近傍に溪流ありて景色佳なり。

瀑布 布引の瀑、高さ四十丈、幅二尺、矢研の瀑高さ十餘丈、幅一尺許、共に米良村字小川に在り。

●東白杵郡 (ひがしうすき)

延岡町 五箇瀬河口にあり。舊延岡藩の城下にして國內北部の名邑なり。

東海港 延岡町の東に在り。國內の大漁場なり。

延岡城址 町の西方、大瀬川と五箇瀬川との間に在り。

光を一瞬に萃む。此山は西南の役に西郡を蔽ふ。し處にて、敗走して夜脱れ、鹿兒島に歸りて自及せり。其古戰場なり。

瓊々杵尊御陵地 可愛岳の東麓に古陵あり。尊の御陵墓なりと傳ふ。

慈眼寺 曾不驛に在り。慶應年中勤王の僧胤康の在りし寺院なり。事漏れて此の寺にて捕へらる。

愛宕山 延岡町の南、垣富村に在り。愛宕社ありて山上眺望佳なり。

細島町 縣下第一の細島港を有するを以て市街殷賑なり。本港は大坂、神戸、鹿兒島、琉球等航海汽船の發着港なり。

行藤の瀑 南方村の行藤山中に在り。高さ十八丈幅一丈二尺。

那智瀑 東海村の川島に在り。高さ七丈八尺、幅一丈八尺。

布引瀑 北方村に在り。高さ二十四丈、幅三尺。

藤木瀑 岩脇村の幸脇に在り。高さ十丈、幅一尺。

●西白杵郡 (にしうすき)

高千穂村 此村の字三田井は名邑にして、太古には美田居と云ひ、天孫降臨し給ひし地と云ふされど他にも斯く稱する地あり。何れ是なるや今知り難し。

二上神社 縣社、高千穂村の三田井に在り。天津日子番能近々藝命を祀る。附近に高天原の舊跡、天の眞名井、四皇子が峯等あり。

荒建神社 村社は三田井の字山川に在り。

高千穂神社 村社、三田井字十社山に在り。鶴目姫命を祀る。古社にして垂仁天皇の朝の創建。

岩戸神社 岩戸村に在り。天照大神を祀る。大神の隠れ給ひし天の岩戸の地と云ふ。

窓の瀬 山水絶勝の區なり。三田井の西、五箇瀬川の上流に在り。

椎葉山 諸塚山南部一帯を稱す。山谷の地にて、壽永中平氏の殘黨隠れし地と傳ふ。

| 郡名 | 地名 | 里程 |
|-----|------|-------|
| 東諸縣 | 高欄町 | 三、二 |
| 宮崎 | 佐土原町 | 五、〇〇 |
| 兒湯 | 高鍋町 | 七、〇六 |
| 高上 | 上江村 | 七、三 |
| 北諸縣 | 都城町 | 一三、一四 |
| 西諸縣 | 小林町 | 一四、〇三 |
| 南那珂 | 飯肥町 | 一四、一六 |
| 同 | 油津町 | 一五、七〇 |
| 東臼杵 | 細島村 | 一六、〇〇 |
| 北諸縣 | 庄内町 | 一六、〇九 |
| 東臼杵 | 延岡町 | 二二、二六 |
| 西臼杵 | 高千穂村 | 三〇、六 |

| 街道名 | | 起點 | 經由地 | 到達點 | 里程 | 街道名 | 起點 | 經由地 | 到達點 | 里程 |
|-----|----|-------------------|------|-------|-----|-----|-------------------------|------|------|----|
| 佐土原 | 宮崎 | 大島、南方、廣原 | 佐土原 | 四、〇〇 | 小川 | 宮崎 | 尾泊、尾金、銀鏡 | 小川 | 一九、二 | |
| 本庄 | 同 | 江平、下北方、上方、柏田、大瀬 | 本庄 | 四、二〇 | 熊本 | 同 | 飯野、高鍋、浦の名、小林 | 肥後國界 | 三、〇〇 | |
| 紙屋 | 同 | 高鍋、綾 | 紙屋 | 八、二六 | 大分 | 同 | 廣瀬、高鍋、美々津、豊後國界 | 三、〇〇 | | |
| 飯肥 | 同 | 清武、木原、郷原 | 飯肥 | 一三、一六 | 同 | 同 | 延岡、浦尻、古江 | 三、〇〇 | | |
| 油津 | 同 | 清武、木原、郷原、飯肥 | 油津 | 一三、三〇 | 曾木 | 同 | 田代、宇納同、黒木 | 三、〇〇 | | |
| 外浦 | 同 | 清武、木原、郷原、飯肥 | 外浦 | 一六、〇三 | 三田井 | 同 | 北方、新町、宮水 | 三、〇〇 | | |
| 鹿兒島 | 同 | 高鍋、浦の名、内山、都城 | 大隅國界 | 一七、〇二 | 崎同 | 同 | 富高、山陰、坪谷、神津、鬼洞野、尾崎 | 三、〇〇 | | |
| 細島 | 同 | 高鍋、都農、美々津、富高 | 細島 | 一八、〇七 | 三ヶ所 | 同 | 宇納同、家代、七ツ山 | 三、〇〇 | | |
| 福島 | 同 | 清武、飯肥、橋口 | 福島 | 一九、〇二 | 河内 | 同 | 三田井、上野 | 三、〇〇 | | |
| 八重 | 同 | 佐土原、妻、尾泊、越見、小川、村所 | 八重 | 一九、三三 | 淵同 | 同 | 延岡、曾木、松尾、宮水、深角、三田井、肥後國界 | 三、〇〇 | | |

終